

あ と が き

一昨年度（平成10年度）は「生きる力を培う理科指導の在り方を踏まえ、一人一人の個性を生かした探究的な学習過程についての研究」の仮題のもとで、研究員21人が各所属校での授業実践を行うことにより、「生きる力」の具現を目指すことになりました。各研究員ともに、最初は「生きる力」の意味が明確にできず、実践に際して大きな戸惑いがありました。従来の研究の多くが探究活動や課題研究に似た内容であったため、研究の多くが日頃の授業とは異なる単発的な内容となっていました。ただ、どの内容も少しでも生徒の学習意欲を増進させるための工夫と実践でした。「生きる力」は継続的な日々の授業から生まれてくるものです。

昨年度（平成11年度）では、日々の授業実践の中から「生きる力」を身に付けさせることを目標に、具体性のある内容として「問題解決能力の育成」に焦点を当てて研究するとともに、さらに、各研究員（20人）は所属校で担当している理科の各科目の継続した授業の各単元の中から、実践のための内容を選び研究に当たることになりました。しかし、各学校にはいろいろな実状があり、特に進学のために各クラスとも横並びに進度を計画している学校では、単元内のすべての内容を生徒に示すとともに、問題の正解を得させるためのテクニックを習得させるべきという旧態依然たる意識がありました。しかし、生徒たちの意識は多様化しており、知的好奇心も旺盛であることから、研究員が実践した内容からより深く学ぼうとする生徒たちの姿が認められ、今回の実践をとおして、今後の授業の在り方を考えさせられる結果となりました。

今年度（平成12年度）は3年間の研究の締めくくりの年となりました。日々の授業実践の中から、各研究員（21人）の持ち味を生かした、生徒に「生きる力を培う」ための様々な工夫と努力を感じていただけるものと思われまます。今回の内容が、本県のみならず日本の各地で実践される授業において取り上げられることを期待しています。

最後になりましたが、このたびの研究のためにご協力いただきました先生方には、ここで厚くお礼申し上げます。

平成13年2月

平成12年度 研究員

物理：	古川 学	羽島北高等学校	生物：	大野 広行	大垣北高等学校
	近藤 進	岐阜工業高等学校		尾関功身子	岐阜北高等学校
	中島福次郎	郡上高等学校		牛田 誠子	各務原東高等学校
	水谷 浩久	瑞浪高等学校		榎田 一博	白川高等学校
	山本 優一	恵那高等学校		古田 健也	土岐北高等学校
	宮ノ腰浩司	高山高等学校		青山 理	中津商業高等学校
				小田切 淳	益田高等学校
化学：	伊藤 一則	大垣南高等学校	地学：	寺門 隆治	吉城高等学校
	高谷 信吾	岐阜北高等学校		西谷 徹	岐山高等学校
	臼田 尚之	郡上北高等学校			
	市岡 敦司	恵那北高等学校			
	森下 眞弓	斐太高等学校			
	園部 利彦	華陽女子高等学校			
教育委員会：	学校支援課	加藤 知之（物理）			
	研修管理課	篠田 憲明（化学・地学）			
	”	杉原 茂男（生物）			